

「茅渟関西連合 第 14 回大会 in 大阪北港」

8月26日（日） 結果報告

前日 8/25（土）に、夕方の夢州サンバシにおいて、落とし込み釣りを楽しんでおられた一般の釣り人が落水、死亡と言う最悪の結果となる事故が発生しました。

この事故報告を受けて、茅渟関西連合及びたまや渡船は、8/26の「第14回大会」を、協議の結果、中止とさせていただきます。年に一度の本大会を、楽しみにしておられた会員の皆様に、お詫びすると共に、私どもが決断した経緯について深い理解をお願いします。

また一釣り人として、故人に心よりのご冥福をお祈り申し上げます。

大会や釣果最優先の昨今に、今一度、深く安全を見直す時代に入った様な気がします。

私達の趣味である釣りは、死と隣り合わせの遊びであり、予測のつかない自然がフィールドとなります。最後に自分を守るのは、自分でしかありません。釣りを始めると言うのは、竿、リール、安全具の3点セットが必要である事を、会員の皆様には認識してもらいたいと思います。

また、この「第14回大会」を風化させないために、記録、記憶として後世に残していこうと考えます。

茅渟関西連合・代表 倉田保夫

報告)

8/26 当日、大会終了後に理事会を開き、本大会の代替大会（代替交流会）は年内は茅渟関西連合としては、開催しない事が決まりました。

また来年度より、茅渟関西連合の主催する各大会には、必ず何かしら安全具の着用を義務づける事も決まりました。大会以外の釣行時も、茅渟関西連合の会員である以上、自覚をもって安全対策に努めていただくよう、よろしく申し上げます。

茅渟関西連合・事務局